



生態系や文化、そして精神的にもかけがえのない役割を果たしている天然林。カナダ林産品協会(FPAC)会員企業はその維持と保護に真摯に取り組み、世界でも最も厳格な森林法規制を遵守するだけでなく、それを上回ることで、自らの施業地で様々な樹齢の木が、健全に混在するようにしています。

### 天然林(OLD GROWTH)とは

天然林の形態は様々であり、すべてを包括する定義は存在しません。当然ではありますが森林の寿命がそれぞれに異なるのがその理由のひとつで、何をもってold growthと見なすかが相対的となってしまうのです。一般的に、天然林は老齢樹の存在、大径木の倒木や立枯れが相当量見られること、階層的にも植生的にも複雑な構成であること、のひとつ以上を特徴としています。

人間との係わり合いも、天然林をどう定義するかの要素です。国際連合は天然林は人間によるかく乱を受けている場合もそうでない場合もあるとしています。一方では比較的にかく乱を受けておらず、自然に再生し、様々な在来樹種が大半を占めているのでなければ、天然林とは呼べないという声もあります。

天然林を定義する鍵は、森林のライフサイクルの理解にあります。森林のライフサイクルは大きく3段階に分けることができ、その第一は林野火災などのかく乱後に見られる幼齢段階です。そして若齢林へと移行すると、弱い樹種は淘汰されて、林冠が生い茂っていきます。そして天然林(old growth)と呼ばれるまでになると、大径木とともに小径木、そして林床には倒木や朽木などが見られるようになります。

### 森林の生物多様性

天然林は森林の極相と考えられることが多いのですが、実はライフサイクルの1段階に過ぎません。様々な林齢の森林が、それぞれに異なる動物や植物を支えているのであって、old growthまで達した森林や立木のかく乱と更新が、生物多様性と生体機能の維持になくてはならない役割を果たしています。様々な樹齢の立木を含んだ、様々な段階の林分は、森林の存続の確保と生物多様性の維持のために不可欠です。

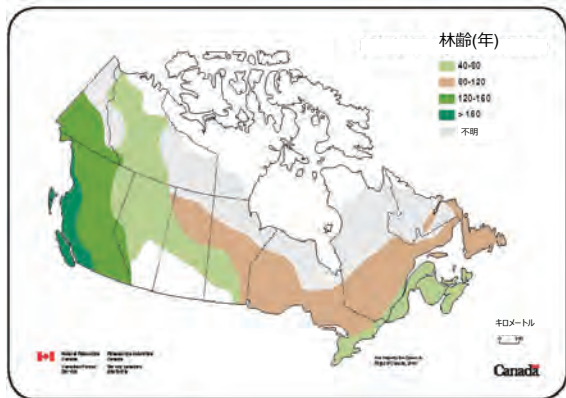
### 天然林の持続可能な管理

カナダの州はそれぞれが、各種の天然林を保護しており、伐採可能な地域においては、森林官が最低限の天然の林分を定めています。他の若齢林の地域は保持されて、既存の天然林がかく乱を受けたり更新される間に、一定の林分が確実に成熟していけるようにしています。

カナダには数百万haもの天然林や成熟林が存在します。これらの森林も元来からの林地も消滅することはありません。カナダの森林地の半分以上は伐採対象とされたことのない、手付かずの広大な地帯であり、営利目的で利用されている森林その他の林地は半分に過ぎません。そしてこの管理された森のうち、伐採対象とされるのは年間1%にも満たないのです。すべての伐採地は法により、速やかな再生が義務付けられています。

カナダはまた、建国時の林地の90%近くを保持している、世界でも数少ない森林国です。しかもその一方で、力強い林産業が100年以上も存続しています。

カナダ林産品業界は、ある種の森林は環境、社会、あるいは経済的な様々な理由により、特に保護されるべき意義があることを理解しています。それらは生物学的、あるいは文化や歴史的な価値かもしれませぬ。私たちはこうした森林には特別な管理手法が必要と考えています。



カナダの寒帯林 - 大半は林齢100年以上

カナダの認証林面積は世界一であり、1億6000万haにも上りません。2014年現在で、世界の認証林面積は総森林面積の約10%に過ぎませんが、この10%の半分近く(43%)がカナダに存在します。

カナダにおける認証林が飛躍的に増大した理由のひとつとして、FPAC会員企業による認証取得への真摯な努力が挙げられます。

### カナダ寒帯林協定(CBFA)

CBFAは世界最大規模の森林保護イニシアチブであり、現在FPACとその会員企業18社、カナダの主要な環境保護NPO7団体その他が加盟しています。

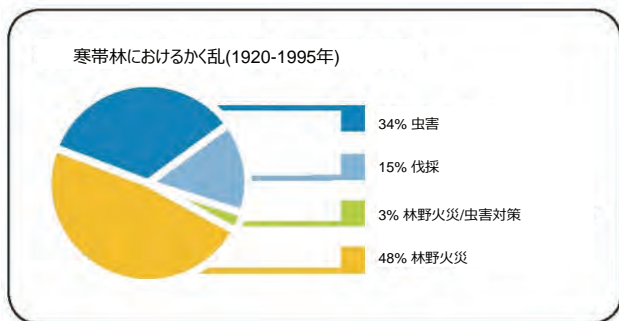
FPAC会員にとってCBFAとは、森林ガバナンスと認証制度の求める最高の基準に適合する厳格な森林管理計画を確実に実施していくための一手段です。CBFAの目標のひとつとして、生態系ベースの管理原則に基づいた、世界をリードする持続可能な森林管理施策を実施していくことがあります。これを果たすためには、天然林分を含め、様々な樹齢の見られる健康な森林の確保が不可欠です。

FPACはこうした環境保護に向けたパートナーシップや協業をカナダで普及させ、私たちの森林資源を次世代のために維持していくことを目標としています。

### 森林認証 - 大きな役割

独立機関による森林認証はその認証印によって、お客さまが購入している製品が環境、社会、経済的な総合的基準を満たして管理されている森林から生まれたものであることを示しています。

認証は第三者の監査担当者が長期的伐採が持続可能であること、無許可あるいは違法な伐採が行われていないこと、野生動物の生息地が保護されていること、土壌の質が維持されていることなど、様々な要素を徹底的に審査した上で発行されます。



1920年以来、カナダ寒帯林におけるかく乱の80%以上が林野火災と虫害

カナダの森林管理担当者は、カナダ規格協会(CSA)、森林管理協議会(FSC)、そして持続可能な森林イニシアチブ(SFI)という3つの国際的に認められた制度の下で森林認証を受けています。いずれの制度も高い基準を設定しており、カナダの厳格な法規制に適合するだけでなく、それを上回ることを林産企業に求めています。

FPACはカナダ林産業界の声を代弁する業界団体であり、Vision2020の掲げる意欲的な目標の達成を支援し、イノベーションな新製品や市場の多様化、環境面での信頼性と実績の向上、そして技能を有する労働力を伴うことで、業界が変貌していけるよう尽力しています。カナダの有力林産企業を代表していることは、FPACの誇りです。

FPAC会員企業は全社が、歴史的なカナダ寒帯林協定に署名し、カナダにおける認証林の66%の営林に当たっています。FPACは会員企業の施業地に第三者による森林認証取得を義務付けた世界初の業界団体です。

